

令和 8 年 8 月

豊肥本線高速鉄道保有株式会社の経営状況
を説明する書類

熊 本 県

目 次

令和 7 年度決算に関する書類

- 1 事業報告・・・・・・・・・・ 1
- 2 決算報告・・・・・・・・・・ 4
 - (1) 損益計算書
 - (2) 貸借対照表

令和 8 年度事業計画に関する書類

- 1 事業計画・・・・・・・・・・ 6
- 2 収支予算書・・・・・・・・・・ 7

令和 7 年度決算に関する書類

1 事業報告

豊肥本線高速鉄道保有(株)は、J R 豊肥本線の熊本駅～肥後大津駅間の時間短縮、列車の増発等の輸送サービスの改善を図ることを目的に、同区間に電化設備の整備等を実施するため、平成9年11月に設立された。

国からの補助金、自治体、九州旅客鉄道(株)からの出資金及び日本政策投資銀行等からの借入金を財源として、電化施設等の整備及び車両を購入し、九州旅客鉄道(株)に貸し付け、その使用料を会社の収入としている。

令和7年度においても、「豊肥線の高速化等に伴う鉄道施設の使用に関する契約」に基づき、九州旅客鉄道(株)への鉄道施設の貸付けを行い、使用料収入による投下資金の回収は、計画通りであった。

また、経費節減に努めるとともに、1名の常勤体制として効率的な会社運営に取り組んでいる。

この結果、売上高は前年度と同額の106,600千円、経常利益は前年度41,718千円に対し、今年度は4.6%増の43,656千円となった。当期純利益は前年度27,929千円に対し、今年度は4.6%増の29,206千円となり7年連続の黒字決算となった。

(参考) 直前三事業年度の財産及び損益の状況

区 分 \ 期	第 26 期 令和 4 年度	第 27 期 令和 5 年度	第 28 期 令和 6 年度	(当事業年度) 第 29 期 令和 7 年度
売上高 (千円)	106,600	106,600	106,600	106,600
経常損益 (千円)	40,231	41,146	41,718	43,656
当期純損益 (千円)	28,764	27,537	27,929	29,206
1株当たり当期純損益 (円)	673.32	644.60	653.76	683.68
総資産 (千円)	1,421,045	1,445,469	1,473,625	1,504,348
純資産 (千円)	1,402,715	1,430,252	1,458,181	1,487,387

【会社の概要】

(令和8年7月1日現在)

1. 会社の名称等

- (1) 商 号 豊肥本線高速鉄道保有株式会社
 (2) 設立年月日 平成9年11月21日設立登記
 (3) 本店所在地 熊本県熊本市西区春日3丁目15番45号

2. 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 50,000株
 (2) 発行済株式総数 42,720株
 (3) 資本の額 2,136,000千円
 (4) 株主数 5名

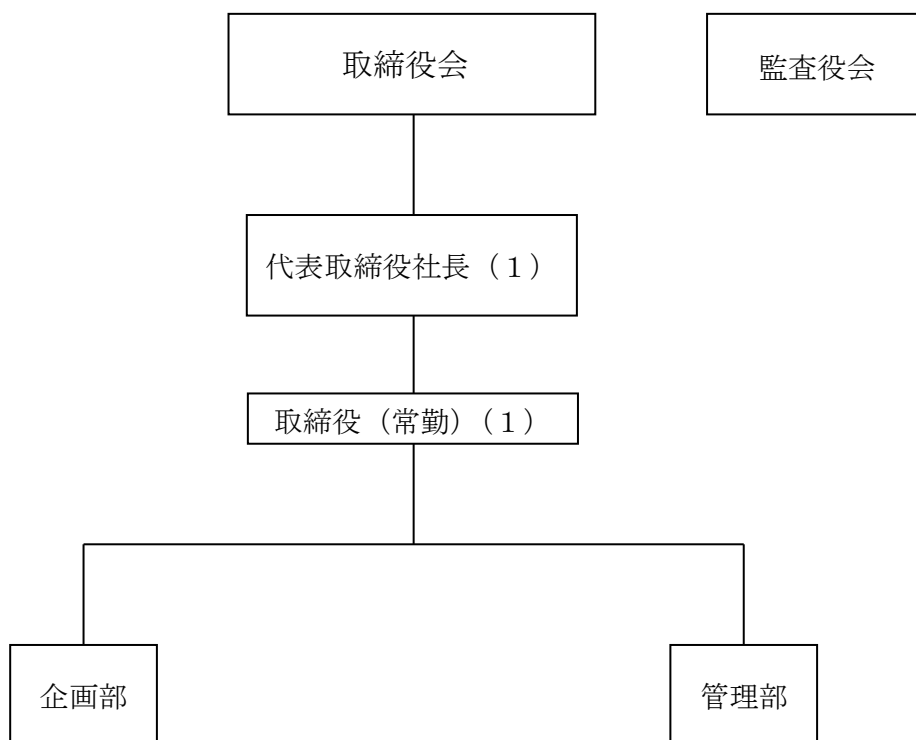
- (5) 株主の状況 (単位：千円)

区分	出資者	出資額	区分	出資者	出資額
自治体	熊本県	694, 200	民間企業	九州旅客鉄道(株)	1, 068, 000
	熊本市	320, 400			
	大津町	26, 700			
	菊陽町	26, 700			
	小計	1, 068, 000		小計	1, 068, 000
合 計				2, 136, 000	

3. 取締役及び監査役の氏名及び主な職業

職	氏 名	主な職業
代表取締役社長	海老原 毅	九州旅客鉄道(株)執行役員熊本支社長
取締役	受島 章太郎	熊本県企画振興部交通政策・統計局長
取締役	松永 直樹	熊本市都市建設局交通政策部長
取締役	淵脇 晃	九州旅客鉄道(株)総合企画本部地域交通まちづくり部担当部長
取締役(常勤)	園田 浩之	元 J R 九州商事(株)熊本支店長
		(5名)
監査役	郷 春美	大津町会計管理者兼会計課長
監査役	鍋島 二郎	菊陽町会計管理者兼会計課長
監査役	持月 裕如	九州旅客鉄道(株)熊本支社副支社長
		(3名)

4. 組織体制



2 決算報告

(1) 損益計算書

自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日 (単位:円)

【営業損益の部】

〔営業収益〕

〔売上高〕 106,600,000

〔営業費用〕

〔売上原価〕

売上原価 48,733,857

売上総利益 57,866,143

〔販売費及び一般管理費〕

販売費及び一般管理費 18,518,522

営業利益 39,347,621

【営業外損益の部】

〔営業外収益〕

受取利息 4,308,250

その他営業外収益 142

営業外収益合計 4,308,392

経常利益 43,656,013

〔特別損失〕

固定資産除去損 176,294

税引前当期純利益 43,479,719

法人税、住民税及び事業税 14,273,098

当期純利益 29,206,621

(2) 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	118, 775, 444	【流動負債】	16, 961, 176
現金・預金	118, 306, 250	未払金	1, 575, 268
未収入金	469, 194	未払法人税等	12, 718, 200
未収収益（未収利息）	0	未払消費税等	2, 616, 500
		預り金	51, 208
【固定資産】	1, 385, 573, 452		
（有形固定資産）	465, 931, 588		
建物	7, 814, 149	負債の部合計	16, 961, 176
構築物	429, 662, 043		
工具器具備品	7	純資産の部	
土地	28, 455, 389	【株主資本】	1, 487, 387, 720
		資本金	2, 136, 000, 000
（無形固定資産）	1, 670, 616	利益剰余金	△648, 612, 280
施設利用権	1, 670, 616	その他利益剰余金	△648, 612, 280
		繰越利益剰余金	△648, 612, 280
（投資その他の資産）	917, 971, 248		
投資有価証券	915, 960, 930		
繰延税金資産	2, 010, 318		
		純資産の部合計	1, 487, 387, 720
資産の部合計	1, 504, 348, 896	負債・純資産の部合計	1, 504, 348, 896

令和 8 年度事業計画に関する書類

1 事業計画

(1) 収入の確保

九州旅客鉄道(株)との鉄道施設の使用に関する契約に基づく使用料収入により収益の確保を図る。

(2) 効率的な業務運営

常勤1名体制を維持し、業務費の節減を図り効率的な業務運営に努める。

(3) 資金の運用

資金運用規程に基づき、日本国債又は地方債により運用し、低金利の状況等を考慮しながら、引き続き安全で効率的運用により、安定的な収入確保を図る。

2 収支予算書

損益計算書

自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日 (単位：千円)

【営業損益の部】

〔営業収益〕

〔売上高〕	106,600
-------	---------

〔営業費用〕

〔売上原価〕

売上原価	48,189
------	--------

売上総利益	58,411
-------	--------

〔販売費及び一般管理費〕

販売費及び一般管理費	18,820
------------	--------

営業利益	39,591
------	--------

【営業外損益の部】

〔営業外収益〕

受取利息	4,677
------	-------

営業外収益合計	4,677
---------	-------

〔営業外費用〕

支払利息	0
------	---

営業外費用合計	0
---------	---

経常利益	44,268
------	--------

税引前当期純利益	44,268
----------	--------

法人税、住民税及び事業税	14,600
--------------	--------

当期純利益	29,668
-------	--------